

スリ ムリナリニ マタ会長のお便り

2012 7月～8月

親愛なる皆さん

主クリシュナの生誕記念日をお祝いするこのおめでたい時期に、無数の信者たちが主クリシュナの祝福という恩寵による救いを今年もまた熱心に求めています。主クリシュナは聖なる愛、叡知、そして正義という無限の意識の化身です。魂の解放をもたらすその導きは聖典「バガヴァッド ギーター」の中で理想的な弟子であるアルジュナに対して語られている不滅の言葉を通じて時代を超えて鳴り響いています。私たちの意識を脅かす比較対象、対立、魅力的な選択肢が充満している現代生活の渦中に在って、魂はすべてを満たす内面的な平安という本来の状態にしっかりと留まることを願っています。その願いを叶える方法を「バガヴァット ギーター」が次のように示しています。

“海に水が流れ込む時、海は満たされつつも不動の状態を保つ、同様にあらゆる願望を自己の内に消化吸収する者、彼は完全な満足を得る。”

ギーターに於ける主クリシュナの教えによって私たちは人生に於ける願望の力を理解し、有効に使うことができます。魂の識別力に導かれた時、願望は何らかの目標を達成しようとする意識の背後に存在し、その達成を促す力として私たちの霊的成長にエネルギーを与えてくれます。しかし自己中心的な願い、物質主義的な自我を求める傾向に支配された場合、この願望は財産、権力、地位、人間関係を満足させる為の飽くことを知らない欲望の増殖をもたらします。叡知と辛い思いをして得た経験だけがこの世のものは決して完全な満足を与えることはできないということを深く理解させてくれます。なぜなら、この世のものそれ自身が不完全だからです。ですからバガヴァン クリシュナやあらゆる偉大な方々は物質的なもので満足を得ようとする自我に支配された欲望を、魂に満足をもたらす有意義な願望へと変えた時に得られる大いなる自由を求めなさいと強く薦めておられるのです。

“すべての願望を自己の内に於いて消化吸収する”ということの究極の意味は深い瞑想によってしっかりと理解することができます。ギーターの中で賞賛されている、そして私たちのグルの方々が教えて下さった瞑想の科学を実践することによって通常、外へ向かって出て行こうとする生命エネルギーの流れが脊椎と脳に在る、精妙な霊的中枢へと引き上げられます。その時、人知を超えた平安の芳しい香が私たちの存在を包みます。私たちは肉体としての存在ではなく、神の光と愛を浴びている不滅の魂だということが少しづつ分かって来ます。神のすべてを満たす存在に包まれた時、他に求めるものや欲しいものは何も無くなります。この神聖な確信にしっかりと結びつくことによって心の落ち着きを損なう執着を生じさせることなく自らの貴い務めを誠実に果たすこと、そして神がこの世に現された善意と美しさを楽しむことができるのです。物質的に何を持っていようと、あるいは持っていなくても、満足することができます。なぜなら、私たちは永遠に魂を満足させることのできる聖なる神との靈交という、最も素晴らしい宝物を自分の中に持っているからです。

着実な自己の成長と人々の幸福に対する更なる気付きを動機とする霊的願望の素晴らしい力を
駆使しようとするあなたのすべての努力を神と偉大な方々が祝福して下さいますように。そうすることに
よって自分の幸せという小さい器^{うつわ}を神の平安と喜びという、果てしなく広がる大海を満たすことができる
大きな器に拡大することができるのです。

神と偉大な方々の聖なる愛と尽きることの無い祝福を込めて

スリ ムリナリニ マタ

この原稿は横浜瞑想会が独自に翻訳したものです。SRFの正式な翻訳ではありません。

Copyright © 2012 Self-Realization Fellowship. All rights reserved.

Sri Murinalini Mata, President